

いのち ぐらし
生命と生活まるっと守ります！

港区議会公明党 丸山たかのり

まるちゃん NEWS

Vol.

09

2017.7

公明党は新執行役で出発！ 区議会改革をさらに前進！！

港区議会公明党は、本年6月の第2回定例会終了後に、幹事長に近藤まさ子議員、副幹事長に池田たけし議員と丸山たかのりの新体制で、新たなスタートを切りました。

今回の定例会では、公明党が長年提案してきた議会のペーパーレス化について、第一弾として議場内でタブレット型端末を用いた本会議が試験的に実施されました！

これからも公明党は、港区議会における改革をリードしていく存在であり続けられるよう、精進して参ります！



写真は、本年6月の重度障がい児の医療施設視察時のもの。中央は近藤新幹事長。左は池田新副幹事長、右は丸山。↑

港区に住み続けたい！ 障がい者や高齢者の方の願い実現！

六本木に、知的障害者グループホームと、サービス付き高齢者向け住宅が完成（10月入居開始）



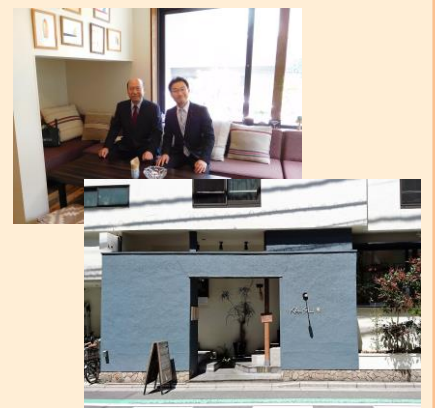
港区議会公明党は、障がい者や高齢者がいつまでも住み慣れた地域で安全で安心して暮らし続けることができるよう、障がい者グループホームの増設や、安否確認や生活相談を提供するサービス付き高齢者向け住宅の整備について議会で度々訴えて参りました。

このたび区営住宅シティハイツ六本木（六本木 6-5-25）の改築にあわせて、六本木ヒルサイドホーム（知的障害者グループホーム）、悠楽里（ゆらり）レジデンス六本木（サービス付き高齢者向け住宅）が併設され（写真左奥）、本年10月1日より入居開始となります！

違法民泊許さない！ 公明党は、届け出義務化等で自治体の監督強化を推進！

本年4月、赤坂6丁目で廃料亭をフルリノベーションし開業した、ホステル&カフェ「Kaisu」（写真）を地元の林田議員と視察。当ホステルは、都心にありながら低料金で利用でき、海外からの利用者を中心に大変に人気ですが、近隣の違法民泊の存在が、経営に影響を与えかねないとのお話も伺いました。

本年6月に、無許可で旅館業を営む違法民泊の規制を強化する「住宅宿泊事業法（民泊新法）」が公明党の推進などで成立。民泊業者に届け出を義務付けるなど自治体の監督が強化されます。東京2020に向けて益々海外からの観光客増加が見込まれ、健全な宿泊環境の整備にしっかり取り組みます！



お問い合わせはこちら

丸山たかのり事務所 TEL/FAX:03-6453-7942 携帯電話:090-7010-1936 お気軽にお電話を。

待機児童解消へ補正予算成立！ 公園等での保育室開設へ！

港区議会公明党は、保育を希望する方全員が保育園を利用できるように、議会
で度々訴えて参りましたが、本年4月1日時点で、港区内の認可保育所に申し込
みながら満員で入所できなかった待機児童数は164人と昨年同時期より増加。



そのため、今定例会で待機児童解消の緊急対策を含む大型の補正予算を成立させ、平成30年4月に区内5
ヶ所に公園などの区有地等を活用した保育室を開設するなどの対策が実施されることになりました！

しかし、公園内保育所は、公園を園庭の代替として利用できる一方、子どもの声による騒音や遊び場が失われ
る懸念を理由に反対運動も他の自治体では起きていました。そこで今定例会では、本年4月都内で初めて都市
公園に開設された荒川区の認可保育所(写真)が、一般の公園利用者が休憩できる交流サロンや屋上部分を
地域の催し物に使用できるよう整備して地域との交流を図っている点を紹介し、参考にするよう提案しました！

リサイクル燃料やひとり親支援で委員会質問が実現！！

質問

廃食用油から精製されるバイオディーゼル燃料の、電気等への利用を促進すべき！



港区は廃食用油のリサイクル回収は行ってきましたが、回収量は多いとはいえず、
また回収された廃食用油から精製されるリサイクル燃料「バイオディーゼル燃料」
を、電気や熱などへ消費し利用することは行ってきませんでした。

品川区では、バイオディーゼル燃料を利用して大規模なイルミネーションを灯すイ
ベントを実施しており、その結果、地域のリサイクル意識も高まり廃食用油の回収量
が増加する「リサイクルの好循環」が生み出されていました。

そこで本年2月の港区議会予算委員会で、バイオディーゼル燃料を港区のイベン
ト等で利用し啓発してほしいと訴えた結果、5月に港区主催で行われた「エコライフ・
フェア MINATO 2017」の発電機(写真)の燃料として使用してもらえました！

質問

相談窓口の一本化など、利用実態に合わせたひとり親家庭への就労支援の強化を！

港区では、平成18年から家庭相談センターにおいて、ひとり親家庭就労支援事業
として、産業カウンセラーの資格を有する就労支援員が面接法による情報提供等の
就労支援を実施していますが、相談件数がほとんどありませんでした。

他方、生活困窮者の自立支援を行う「港区生活・就労支援センター」には、就労相
談に訪れるひとり親家庭も多く、そうした実態に合わせて窓口を一本化したり、利用
者が少ない「高等職業訓練促進資金貸付金」の活用を促すなど、ひとり親家庭への
積極的な就労支援の強化を、昨年2月の予算委員会などで度々訴えてきました。

その結果、今年度より、「生活・就労支援センター」にひとり親家庭自立支援員が配
置され、ひとり親家庭への就業支援のワンストップ化が実現され強化されることに！



©KOMEITO

“まるちゃん”のひとこと

7月に入り、大変に暑い日が続いています。どうか皆さま熱中症になられませ
んよう、こまめな「水分補給」と必要に応じた「冷房」使用で、くれぐれもご自愛
ください。